

11月5日(土)の授業参観では、たくさんのご参加をいただきありがとうございました。2部に分けずに一斉に実施したため、廊下が大勢になり少々見づらかったかもしれません。それでも、保護者の皆様には静かに観覧していただいたので、子どもたちは集中して学習することができました。引き渡し訓練についても、1年生の保護者の皆様にご協力いただき、予定通りの流れで実施することができました。成果と課題を振り返りながら、今後に生かしたいと思えます。ありがとうございました。

学校運営協議会 ～学校運営の改善や児童の育成について協議しています～



学校運営協議会とは、『葛城市立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則』において、「学校運営に関して葛城市教育委員会及び校長の権限と責任のもと、保護者や地域住民等の学校運営への参画の促進や連携強化を進めることにより、学校と保護者、地域住民等との信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むものとする。」とされているものです。

11名の委員さんによって運営しています。今年度は、会長 竹橋正明さん(弁護士)、副会長 吉川正利さん(奈良県共同募金会長)、福本義久さん(大学准教授)、尾上清隆さん(元公立小中学校校長)、岡山正博さん(南藤井区長)、川井朗さん(西室区長)、山本衛さん(柿本区長)、古城恵子さん(民生児童委員主任児童委員)、黒川美江子さん(新庄図書館おはなし会リスピー)、生野悦子さん(学校地域パートナーシップコーディネーター)、木村公さん(PTA会長)が委員として参加してくださっています。学校からは、毎回、校長・教頭が参加し、内容によっては、教務の山本佐江子先生が参加することもあります。

今年度は、6月16日(木)に第1回学校運営協議会を実施しました。5時間目の授業参観にご参加いただき子どもたちががんばっている様子を見ていただきました。その後、参観について意見交流をしたり、今年度の学校運営の方針について話し合いをしたりしました。そして、先日11月22日(火)に第2回会議を行いました。運動会のビデオで子どもたちの姿を見ていただき、全国学力学習調査の結果から今後の学校運営や子どもたちの活動についてご意見をいただきました。第3回は、3月に実施し、学校評価結果から年間の成果と課題について話し合い、来年度の教育課程について協議します。また毎回、そのときに発行している学校だよりを読んでいただきながら、学校行事や子どもたちの様子などを報告しています。

かけ足をがんばっています

10月末からかけ足が始まりました。

かけ足の目的は、

- ・寒さ、苦しさに負けない心を育て、体力をつける。
- ・自分で目標を立て、歩かずに走れるように努力する。
- ・友だちと励まし合いながら取り組む。

です。

体力を少しでも向上し、マラソン大会でも力を発揮できるようにがんばります。

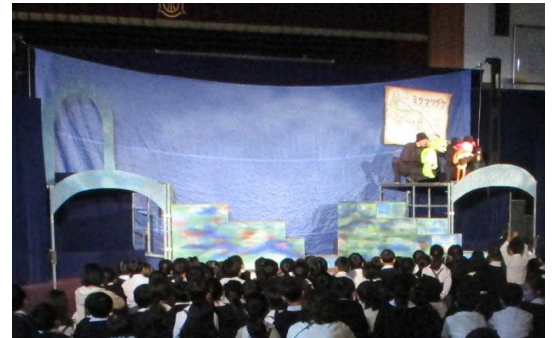


芸術鑑賞会 ～人形劇『とどろヶ淵のメッケ』～

10月25日(火)に、人形劇団京芸さんに来ていただき、芸術鑑賞会を開催しました。『とどろヶ淵のメッケ』と題する大型人形劇です。カップのにとって命である滝の水が流れ落ちてこなくなった原因をつきとめるために、カップの子ども「メッケ」が、歴史好きのカップの「ソッカ」と力自慢カップの「ヨッシャ」と冒険をするお話です。途中で、大イノシシが不思議な石をくれたり、ウロウロという大きな影が出現したり、謎の大ガメと出会ったり、そんな謎を解くカギとなるキャラクターが出てきます。

劇を見ていた子どもたちは、カップと一緒に冒険をしているような気持ちになってお話の中にぐいぐいと引き込まれていました。ハプニングにハラハラドキドキしながら、謎が解けたときには一緒に喜びながら、楽しく観覧していました。舞台装置も素晴らしく、高い山に登っていく様子や水の中で泳ぎ回る様子が豊かに表現されていました。子どもたちの感性がくすぐられ磨かれたいい時間でした。

原作は富安陽子さんの『とどろヶ淵のメッケ』（佼成出版社）です。人形劇との出会いをきっかけに、富安さんの本を読んでみるのもいいですね。



<11月の全校朝礼の話から ～きれいに色づいた葉っぱたちに～ >

今日は、いくつかの落ち葉を持ってきました。同じ木から落ちていた落ち葉ですが、1枚1枚の色がこんなに違います。同じ木でもこんなに色の違いがあるのは、その木のどの枝についているかによって、太陽の当たり方が違ったり、風の通り方が違ったり、もっと言えば月の光の当たり方が違ったり、温かさや寒さが違ったりするかららしいです。一枚一枚の葉っぱがそれぞれ違う経験をしているので、みんなそれぞれ違う色にかわるということです。葉っぱたちは、1年の間に、太陽や月から光をもらいながら、雨や風にはげまされながら、木が育って実をつけるためにりっぱに役割をはたしたあと、一枚一枚違う色にきれいに色づいて、きっと満足して、落ち葉となってゆくのだと思います。

木や葉っぱは、私たち人間にとっても、ありがたい存在です。春は若葉の緑を楽しませてくれたり、夏は葉を茂らせて木陰を作ってくれたり、秋はきれいに色づいた紅葉を楽しませてくれたりします。落ち葉にお疲れさまと言ってあげたいですね。

今、1年生が秋の木の实や葉っぱを使って、作品作りをしています。きれいに色づいたいろいろな葉っぱやふっくらと実ったいろいろな木の実が生かされた素敵な作品です。落ち葉や木の実も作品の中に飾ってもらって、うれしそうです。完成したら、教室に掲示されます。お楽しみに。



※新庄小学校のホームページの「学校のとりのくみ」に「図画工作の時間」と題して、各学年の図画工作の作品を紹介しています。1年生は、朝礼でも紹介した『秋のアート』を掲載しています。ぜひご覧ください。

<子どもたちのよりよい成長に向けて、学校と家庭との連携を！>

2学期も終わりに近づいてきました。12月15日(木)から12月21日(水)までの期間に個人懇談を行います。(決定した日程については、後日お伝えします。)学習について、行動について、生活のリズムについて等、ご家庭で気にかかることがあれば、遠慮なくご相談ください。担任からは、学校での学習や行動についてお話をし、ご家庭との連携を取りながら、今後のお子様の成長へとつなげていく機会にしたいと思います。但し早急に解決したいことについては、懇談を待たずに随時ご相談ください。

また、学校で起こったトラブルについては、子どもたちの思いを聞きながら、子どもたちが納得できるように解決していく中で、ご家庭との連携が必要となることはいへん多くあります。日頃から、学校での様子、家での様子を共有し、子どもたちの心をしっかりと受けとめながら、子どもたちのよりよい成長に向けて、手を携えていきたいです。どうぞよろしくお祈りします。